令和4年度 早苗幼稚園自己評価（担任 21 名）

＜園の自己評価＞

A:よくできた B:できた C:一部改善が必要 D:改善が必要 E:該当なし

		A	B	C	D	E
1. 保育理念・保育感						
1	保育者一人一人が園の保育理念・保育方針を理解している	3 人 (14.3%)	13 人 (61.9%)	5 人 (23.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2	一人一人の主体性を大切にした保育をしている	5 人 (23.8%)	15 人 (71.4%)	1 人 (4.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
3	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している	8 人 (38.1%)	13 人 (61.9%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2. 保育計画・指導計画						
1	保育計画に基づき、子どもの発達や姿を把握して計画を立てている	6 人 (28.6%)	13 人 (61.9%)	2 人 (9.5%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2	未満児は、現在の姿を理解し一人一人に応じた個別計画を立てている	5 人 (23.8%)	6 人 (28.6%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	10 人 (47.6%)
3. 食育						
1	栄養士・保育者が連携し、会議で意見を交わしよい給食になるよう努めている	5 人 (23.8%)	11 人 (52.4%)	1 人 (4.8%)	0 人 (0.0%)	4 人 (19.0%)
2	食物アレルギーは、個別に配慮し食事を提供している	13 人 (61.9%)	7 人 (33.3%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	1 人 (4.8%)
4. 保護者支援						
1	保護者と良好な関係を作ろうとしている	11 人 (52.4%)	10 人 (47.6%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2	園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている	7 人 (33.3%)	11 人 (52.4%)	2 人 (9.5%)	0 人 (0.0%)	1 人 (4.8%)
3	保護者の状況を理解し、個人情報を保護している	10 人 (47.6%)	11 人 (52.4%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
4	子育てのパートナーとして保護者の子育ての大変さや悩みを理解している	7 人 (33.3%)	13 人 (61.9%)	1 人 (4.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
5. 子育て支援						
1	地域に開かれた園として、定期的に子育てをしている親子をうけいれている	5 人 (23.8%)	14 人 (66.7%)	2 人 (9.5%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2	子どもの心身の発達や育児不安について、相談できるようにしている	3 人 (14.3%)	17 人 (81.0%)	1 人 (4.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)

＜保育者の自己評価＞

A:よくできた B:できた C:一部改善が必要 D:改善が必要 E:該当なし

		A	B	C	D	E
1. 保育計画						
1	園の保育目標を理解して、年間計画を立てた	2 人 (9.5%)	14 人 (66.7%)	5 人 (23.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2	めざす「子ども像」を実現できるような保育計画を立てた	5 人 (23.8%)	13 人 (61.9%)	3 人 (14.3%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2. 保育実践						
1	園の保育目標を理解して、実施しようと努めている	4 人 (19.0%)	16 人 (76.2%)	1 人 (4.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2	めざす「子ども像」を意識して保育に取り組んでいる	5 人 (23.8%)	16 人 (76.2%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
3. 環境づくり						
1	子どもの発達を促すための環境づくりを心がけている	5 人 (23.8%)	15 人 (71.4%)	1 人 (4.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている	8 人 (38.1%)	11 人 (52.4%)	1 人 (4.8%)	0 人 (0.0%)	1 人 (4.8%)
4. 子どもへの関わり						
1	一人一人を大切に関わっている	13 人 (61.9%)	8 人 (38.1%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2	一人一人の子どもの目標と課題を明確にし、見通しを持ってかかわっている	9 人 (42.9%)	11 人 (52.4%)	1 人 (4.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
5. 保護者対応						
1	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている	11 人 (52.4%)	9 人 (42.9%)	1 人 (4.8%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
2	保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	7 人 (33.3%)	14 人 (66.7%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)

～ 総 評 ～

令和3年度に比べると、1、保育理念・保育観、2、保育計画・指導計画、3、食育、5、子育て支援の項目については、自己評価が若干低下している傾向にある。

令和4年度はコロナ禍も3年目となり、疲弊感やストレスを訴える教員が続出したことも背景にあると推測する。幼稚園は一つの「家」にも譬えられ、そこで生活を共にするメンバー個々の精神的な健康状態は、他のメンバーにも影響を与えるので、過去3年間もの長い期間に非常事態での保育を進めるにあたり、日々マスク着用や消毒作業、コロナ全般の目視出来ない病原菌に対する恐怖感が、メンバーの精神面にも不安や心労を与える事が多くあった。

コロナ禍の厳しい状況にあっても子どもたちの笑顔を引き出す為に、教職員は安全面や健康面に多大な努力を重ねた結果、保護者からは常に高い評価を受けていた。